



いむら
岩村みゆき 議員
IWAMURA Miyuki

Q. アフターコロナの 高齢者対策は

A. 新たな施策を検討したい

新型コロナウイルス感染症による外出自粛、イベントや講座の中止が与えた高齢者への影響はとて大きいと感じている。

Q 地域包括支援センターの健康づくり・介護予防の教室は現在、100%開催されているか。

生活福祉部長

A 「元気教室」をはじめとする6教室は、令和4年度は100%開催している。参加人数も令和3年度は延べ845人だったが、令和4年度は令和5年2月時点で1077人であり増加傾向にある。

Q 町主催のサロン、社会福祉協議会のサロンは、どれくらい開催されているか。

生活福祉部長

A 町主催のサロンは令和3年度、9回の開催だったが、令和4年度は毎月開催しており、参加人数も増加傾向にある。

豊山町社会福祉協議会の元

気はつらつサロンは、令和4年度は毎月開催している。

なお、オレンジカフェについては、運営方法の見直しを検討中であるため、未開催の状況となっている。

Q 新型コロナウイルス感染症の高齢者への影響をどう捉えているか。

生活福祉部長

A 様々な影響が出ていると推察する。通所系サービス給付費は減少し、訪問系サービスの給付費は増加している。また、要介護・要支援者認定数が増加している状況である。

Q ひとり暮らし高齢者へ新たな施策が必要では。

生活福祉部長

A 令和3年度から、65歳以上のひとり暮らしや高齢者のみの世帯を対象に、高齢者登録制度を実施している。

今後については、新しい生活様式の状態を踏まえながら、新たな施策について検討していきたい。

Q. ひとり親へやさしい周知を

A. 周知や内容の充実に努める

Q やむを得ずひとり親になる方、突然、ひとり親になる方がおられる。寄り添う支援策として、町の制度、県の制度、社会福祉協議会の制度が1枚にまとめられた、名古屋市にあるような「ひとり親支援ポケットガイド」を作成してはどうか。

生活福祉部長

A ひとり親家庭への支援策については、町のホームページ

「じゃ子育て支援アプリ「kikotto」に、支給される各種手当のほか、相談窓口などを紹介している。

また、児童扶養手当に係る現況届の提出をお願いする際には、愛知県やハローワークの制度を併せて案内している。今後は、子育てに関する情報を集約した子育て支援アプリの更なる周知や内容の充実に努めてまいります。

